

デイサービスセンター筆の都 事例検討

名前	A 様 女性	年齢	80歳代
住所	B 町 一戸建	要介護度	要介護 5
主介護者	娘	経済状況	
他の協力者	息子 (町内在中)	生活自立度	B2
医療機関	C 医院	認知度	II b
生活歴と現状(病名)	<p>若いころ洋裁の仕事をしていた。25歳で結婚し3人の子供を産み、1人は死亡。日用品や野菜などを売る店をご主人と開業し、70歳過ぎまで働いて店を閉めた。この頃ご主人死亡され、長女と二人暮らしになる。物忘れ、白内障で視力低下が始まり、1日中横になったり座ったりの生活に、高度の肥満があり、入院をきっかけに少しずつ立ち上がることができなくなった。胆石手術(70代)、認知症(3年前 幻覚妄想出現あり内服治療)、両眼白内障手術、呼吸不全で入院、両膝関節症</p>		
	<p>家族構成図</p> <p>娘と2人暮らし</p>		
身体状況	<p>自宅ではギャッジベッド上生活。週3回のデイへは休まず通所。移乗時の両膝関節痛の訴えはあるも、炎症症状はなく移乗拒否もない。身長145cm。体重は2年前に最高100kgあったが徐々に減り、今年8月は89kg。精神症状はない。下腿長は左右とも38cm。</p>		
視力	問題 あり <u>なし</u>	良好 (白内障手術済み)	
聴力	問題 あり <u>なし</u>	良好	
言葉	問題 あり <u>なし</u>	良好	
褥瘡	あり <u>なし</u>		
食事	自立 ・ <u>一部介助</u> ・ 全介助	普通食(一部カット) 8~10割摂取 セッティングし、箸を使い最後まで自力摂取 好物はにぎりずし、甘いもの	
歩行	自立 ・ 一部介助 <u>全介助</u>	車椅子使用 自宅ではベット上で生活	
排泄	自立 ・ <u>一部介助</u> ・ 全介助	自宅ではオムツ、テレミン座薬使用し週2回程度排便 デイではリハパン使用 尿意はときどきある	
入浴	自立 ・ 一部介助 <u>全介助</u>	週3回デイで入浴 (機械浴槽使用) ぬるめの湯で長く浸かるのが好き	
着脱衣	自立 ・ <u>一部介助</u> ・ 全介助	時間をかけてシャツに腕を通すことはできるが、頭を通せない。ボタンはできる。	
問題行動	あり <u>なし</u>		
現在利用しているサービス	デイサービス週3回、福祉用具貸与(ベッド、車いす、スロープ)		
本人の意向	<p>多少の認知症があり、日頃から「こうしたい」という自発的な発言は少ないものの、トイレ誘導や尿意をたずねると受け答えはされる。自分から「トイレで気持ち良く排泄したい」という希望が最近聞かれるようになった。</p>		
問題点	<p>※ 自宅では介護の負担もあり、常時オムツを使用しているが、デイではトイレへ移乗し排泄できるようになった。本人からトイレで排泄したいという意欲が出てきたので、できるだけ自宅⇄デイでの排泄方法について統一を図りたいが、うまく進んでいない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人は娘への介護負担に遠慮がある。 ・移乗時両膝の痛みあり(腫脹・発赤・熱感なし)思うように援助が進んでいない。 ・家族は、特に排泄について、トイレでの排泄は希望なく、オムツ交換で済ませている。 		
検討項目	<p>※ 自宅とデイでの排泄方法が違い、娘の介護負担に遠慮があるAさんに、希望である「トイレで排泄する」を引き出せるよう改善していくには、今後どのように考え、進めていけばよいか検討したい。</p> <p>(車椅子から椅子へ座り替え、活動座位と前傾姿勢を促し、ファンレストテーブルを使って、トイレ誘導へ変更し、尿意を時々訴えられ、トイレで排尿が出来るようになった。そしてAさんは良く笑うようになった。自宅でみてあげたいと仕事をしながら懸命に介護を続けている娘さんのプライドや思いをくみながら、今後どうアプローチをしていくか)</p>		